

Mg生ワクチン

マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症生ワクチン（シード）

成分

乾燥ワクチン 1バイアル（1,000羽分）中

主 剤:マイコプラズマ・ガリセプチカムK5831B-19株（シード）... 10^9 CFU以上

用法及び用量

点眼接種:乾燥ワクチンを別売り*の「ボックスオン-ソルベント」で溶解し、1羽分（0.03mL）を4週齢以上の鶏に点眼接種します。

噴霧接種:乾燥ワクチンを別売りの「ボックスオン-ソルベント」で溶解したものを、精製水又は飲用水で10~20倍に希釈し、粒子径約 $50\mu\text{m}$ に調製して4週齢以上の鶏に噴霧接種します。

効果及び効能

マイコプラズマ・ガリセプチカム感染に伴う産卵率低下の軽減

安全のために

- ⚠️ ご使用の際には本剤の添付文書をよくお読み下さい。
- ⚠️ 獣医師等の処方せん・指示により使用して下さい。

貯蔵方法 10°C以下

有効期間 製造後3年間



Mg生ワクチン
10本/箱 1,000羽分/バイアル

*: 別売り「ボックスオン-ソルベント」



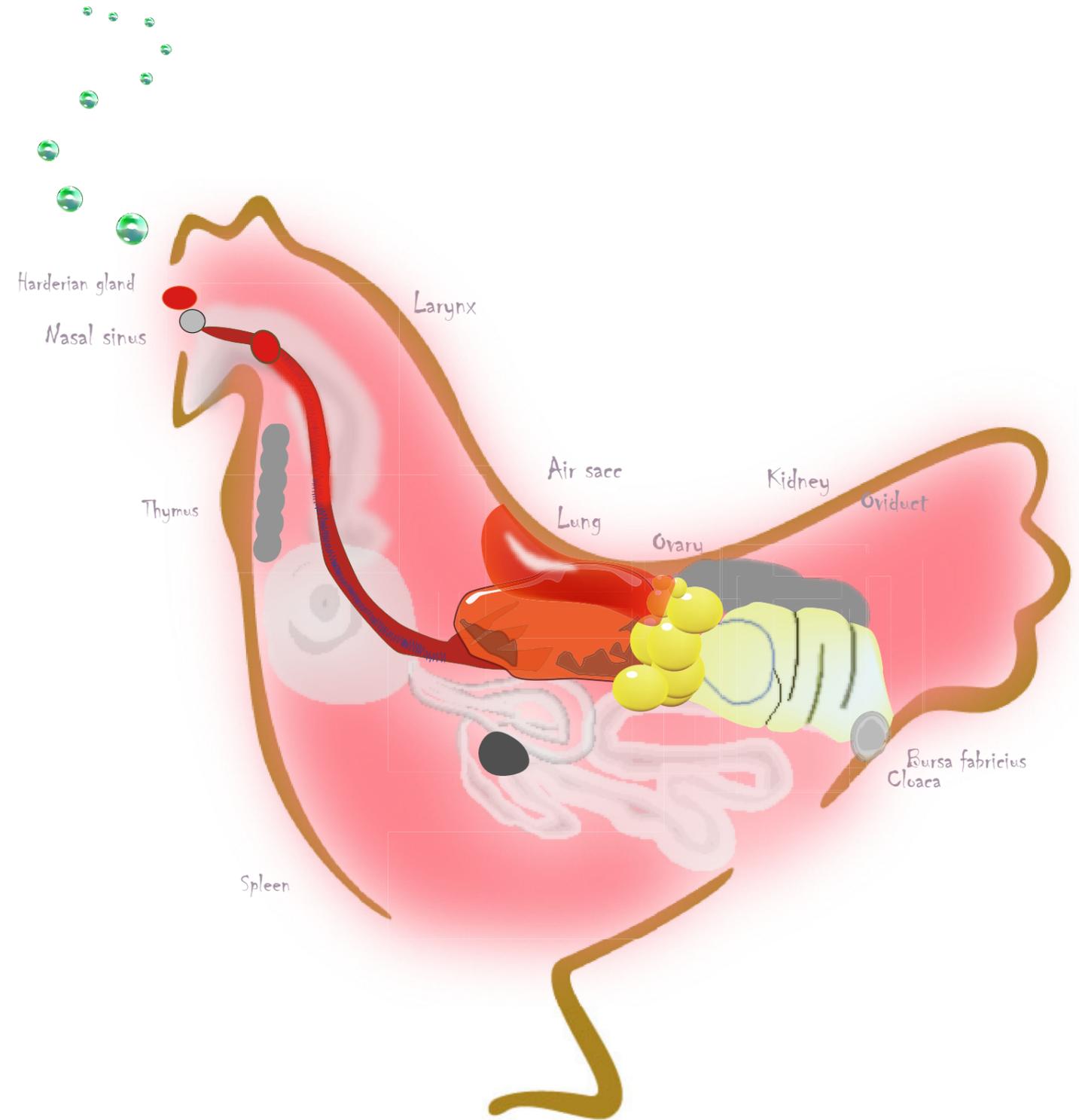
10本/箱 1,000羽分/30mL/バイアル
1バイアル中: 塩化ナトリウム 0.27g
精製水 残量
保 管: 2~10°C
有効期間: 製造後3年間

本製品に関するお問い合わせは下記までお願いします。

マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症生ワクチン（シード）

劇 動物用医薬品
要指示医薬品
指定医薬品

Mg生ワクチン



Mg生ワクチン

マイコプラズマ・ガリセプチカム
感染症生ワクチン(シード)

Mg 生ワクチンには、無症状の鶏の気嚢から分離し、継代した K5831B-19 株を用いています。

凍結乾燥品! 取扱いが簡易です。

安全性! 安全性が確認されています。

長期免疫持続! 野外で実証されています。

HI抗体が反応! 体液性免疫が上昇し、ワクチンの免疫付与を確認できます。



安全性

試験1

4 週齢の SPF 鶏に、1 羽につき 100 羽分の Mg 生ワクチンを点眼または噴霧接種し、8 週間観察しました。その結果、観察期間中いずれの鶏群においても臨床症状に異常は無く、増体重についても非接種対照群との間に有意差は認められませんでした(図 1、2)。

図1 点眼接種

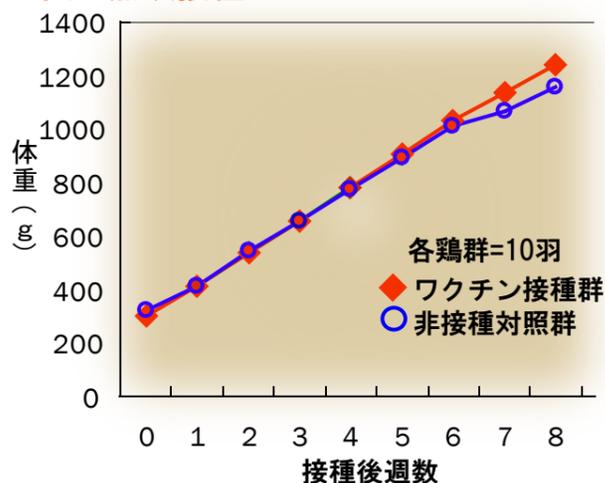
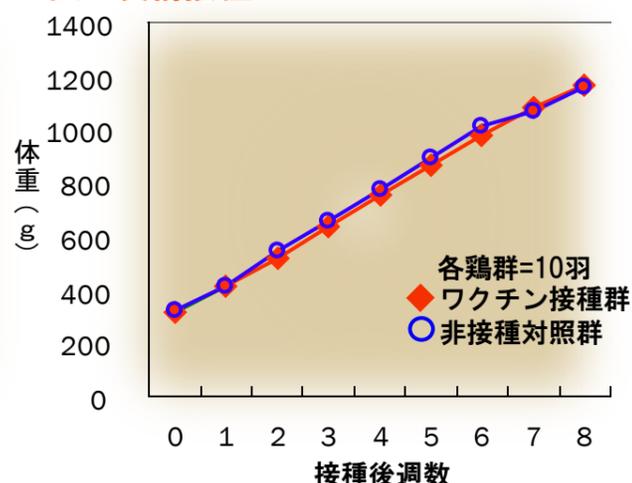


図2 噴霧接種



試験2

Mg 生ワクチン K5831B-19 株を鶏で 5 代継代した株 $10^{6.2}$ CFU/0.1mL/羽を、4 週齢の SPF 鶏に点眼接種し、接種後 21 日間観察しました。観察終了時には剖検及び気管の組織病変観察を行いました。その結果、いずれの検査についても異常は無く、病原性復帰は認められませんでした。

表 1. 鶏 5 代継代株接種における臨床状態、剖検及び組織病理学的検査

臨床状態*	剖 検†				気管組織病変‡
	気嚢	眼窩下洞	鼻腔	気管	
0/10*	0/10	0/10	0/10	0/10	0/10

*: 接種後 21 日間の観察 †: 接種後 21 日目に解剖 ‡: 異常羽数 / 観察または検査羽数

効果

野外の採卵養鶏場において、70日齢の鶏群にMg生ワクチンを点眼接種しました。

試験 3

接種後 Mg-HI 抗体価は速やかに上昇し、飼養期間中一定の水準で推移しました(図 3)。

試験 4

鶏群が 420 日齢時に、病原性 Mg 株 (R 株) を用いて攻撃試験を行いました。その結果、当該鶏群に産卵低下は認められず、本ワクチンの有効性と免疫持続が確認されました(図 4)。

図3 Mg生ワクチン接種後のHI抗体価の推移

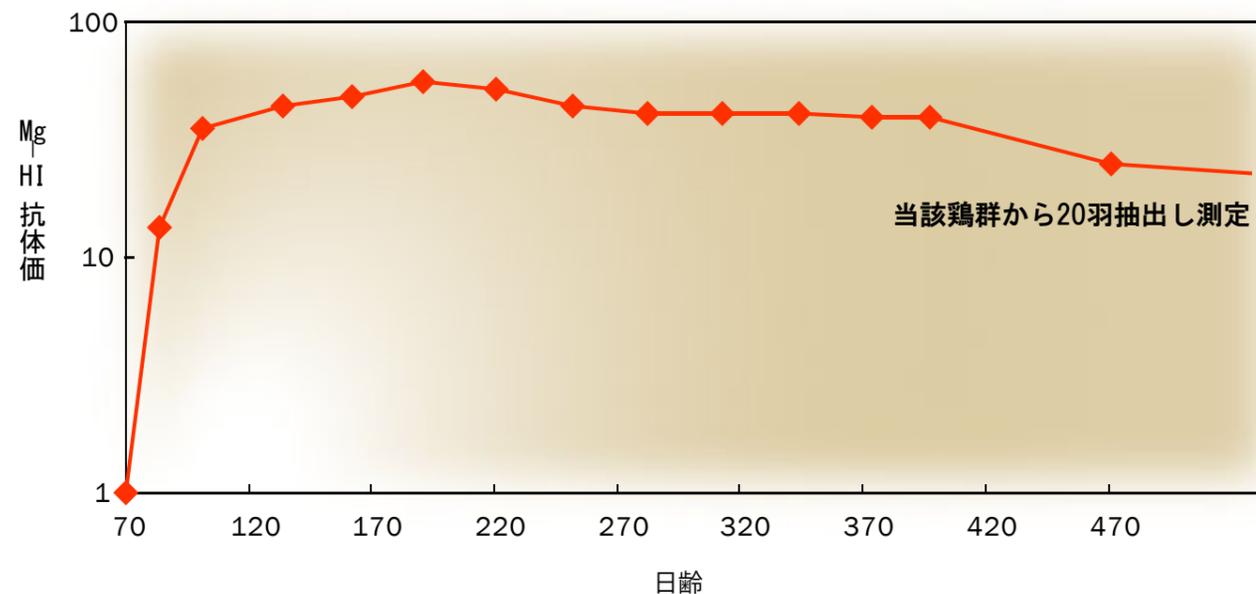


図4 攻撃試験における産卵率の推移

